



国際会長ニュース

2023年2月



国際会長からのメッセージ

世界中のワイズメン、ワイズウィメン、ワイズユースの皆さんへ

この最初の皆さんへの手紙は、予定より数ヶ月早く国際会長の職務に就いたことに感謝、興奮しつつ書きました。国際会長に選出されたと同時に、私が最初に行ったことのひとつは、国際会長主題を決めることでした。それは、新約聖書のマタイによる福音書 5 章 16 節から着想を得た「Let Your Light Shine (「輝かそう、あなたの光を」)」です。この偉大な運動のメンバーとして、私たちの役割は、灯台のようなもので、ポジティブなものを照らすための道標を提供し、この光が人々に反射され、受け継がれることを望んでいます。

ワイズメンズクラブ国際協会 (YMI) の強さは、強力なクラブにあります。クラブは、私たちの運動の基盤であり、私の主題に沿って言えば、私たちの灯台の電球のようなものです。一人では、世界の暗闇を照らす力は限られています。しかし、数千人が集まれば、壮大なスケールで明瞭さと輝きを達成することができるのです。すべてのクラブが自分の光をできるだけ明るく照らすことをお勧めします。地域社会にインパクトを与えるだけでなく、世界中のクラブ会員との親睦活動にも力を注いでください。私たちは、クラブの連合体であり、自治権を有しながら、親睦によって結ばれています。これこそが、私たちの他との決定的な違いであり、大きな強みなのです。私は、最近、YMI が成し遂げたことに勇気づけられています。国際執行役員として、私は、あらゆるレベルの多くのリーダーたちの献身的な活動を目の当たりにしてきました。この 6 ヶ月の間に、全てのエリアで新しいクラブが結成されましたが、これは素晴らしい成果です。私たちは、今後 10 年間の計画である「戦略 2032」を採択しました。献身的な作業チームは、国際憲法と組織構造を現代化する方法を研究し続けています。インパクトとブランド認知度を向上させ、リーダーを強化するための具体的な決定がなされました。様々なプログラムの見直しが行われています。私たちは活動的であり、意欲的です。私たちは、共に未来を創造しているのです。

2 月は TOF (タイム・オブ・ファスト) の強調月間です。TOF は、私たちの運動の精神を表しています。また、第 3 回国際 RDE サミットの開催に向けて、準備を進めています。そしてもちろん、台北で情熱的で献身的なメンバーによって企画されている 100 周年祝賀会の準備も忘れてはいけません。今、YMI は、とてもエキサイティングな時期です。今こそ、心から祝福し、笑顔を見せる時です。

素直な笑顔は、自信を与え、信頼を築き、YMI の礎となるコミュニケーションの姿だと思います。皆さんとたくさんの笑顔を分かち合い、世界の不平等の深い影を払拭するために、私たちの運動の光を広めることを楽しみにしています。

ウルリック・ラウリドセン
国際会長



輝かそう、あなたの光を



国際本部ニュース

2022/23 年度次期国際会長、次期国際会計、国際議員の国際選挙が 1 月 30 日に締め切られました。当選者は、国際執行役員会での承認後、近日中に発表されます。IHQ(国際本部)は、皆さまの民主的プロセスへの参加に感謝の意を表します。

この時期はクラブや区にとって忙しい時期で、まもなく IHQ への後期半年報が必要になります。報告期限は、2 月 10 日です。また、国際会費は 2 月 28 日までに IHQ に送金することになっています。期限内にご報告いただけるよう、皆さまのご協力をお願いいたします。会費の支払いおよび国際献金は、IHQ が請求書を発行した後、送金することができます。[詳細](#)や請求書については、ウェブサイトをご覧ください。

最初の iGo インターンシップは、直前国際ユース代表のドゥワイト・トムリンソンが約 3 ヶ月間、コンボ YMCA で働き、成功裏に終了しました。2 人目のインターンはエストニア出身のガート・ゲンタレンで、現在チェンマイ YMCA で学習体験をして、3 月に終了予定です。現在、3 月 26 日から始まるスリランカでの 3 回目のインターンへの応募を受け付けており、近日中に選ばれた候補者を発表する予定です。[iGo プログラム](#)の詳細については、こちらをご覧ください。

2 月は TOF(タイム・オブ・ファスト)の強調月間です。すべてのクラブ会員は、社会的に最も恵まれない人々のために、1 食または 2 食を犠牲にして、少なくとも 10 スイスフランを基金に寄付することが求められています。また、TOF の資金申請の締め切りは、2023 年 3 月 15 日です。詳しくは、[TOF のウェブページ](#)をご覧ください。

最後に、2023 年 3 月 9 日～12 日に台湾・台北のグランドハイアットで開催される YMI100 周年祝賀会、そして 3 月 12 日～15 日に台北 YMCA 開催される国際 RDE(次期理事)サミットの準備が本格化していることは心強い限りです。YMI 100 周年祝賀会への登録はまだ間に合います。<http://ymi-100.org/>でこの記念すべきイベントへ参加する権利を行使してください。

ジョース・ヴァルギース
国際書記長

編集長から

国際会長ニュースへのご意見・ご感想を編集長にお聞かせください。

2023年3月の強調月間テーマは、CSとグリーンプロジェクトです。

以下のボタンをクリックして、
2023年2月10日までに
記事を投稿してください。

編集長にコンタクト



タイム・オブ・ファスト

TOFプロジェクトを支援することはより
良い世界を作るために貢献することです。



TOF国際事業主任 ジェンズ・バイスコフ

タイム・オブ・ファスト(「断食のとき」(TOF))は、世界中のクラブ会員や家族、友人が、少なくとも1食の食事を抜き、その食事代相当を世界の YMI と YMCA のプロジェクトに寄付をするという、特別で好評なプログラムです。YMI は毎年、加盟クラブ、YMCA からそれぞれプロジェクトの申請を受け付けています。TOF 委員会が審査し、推薦書を国際議会に提出し、承認されます。今年度は、新たに 9 件のプロジェクトが承認され、総額は 11 万スイスフランでした。

TOF のプロジェクトは、以下の全ての要件を満たす必要があります。

- 恵まれない人々およびまたは彼らを支援する人々に直接関わること
- 直接・間接を問わず、受益者の生活の質を向上させるものであること
- 自助努力によるものであること
- 継続的な資金があること、または、設立後には自己資金で賄われること
- 国連の「持続可能な開発目標」(SDGs)のうち、少なくとも1つに関わっていること

今年度に承認されたプロジェクトは、以下のとおりです。

1. ガンビアにおける YMCA ユースエンパワーメントセンターの開発
2. タイにおける森林生態系の保全と再生、持続可能な農業の実現
3. ハイチにおける少女と女性のための YMCA プログラムの発展
4. スロバキアにおける自己啓発を中心とした YMCA 若手指導者の人材育成
5. インドにおける女性のエンパワーメントプロジェクト(裁縫とコンピュータートレーニング)の実施
6. インドにおける社会的弱者の予防医療、保健衛生教育の実施
7. チリにおける健康的な代替医療の実施
8. 米国における YMCA 卒業生プロジェクト。小さな家の建設
9. 世界の恵まれない若者の、デジタル公平性の加速

以下のアイコンをクリックして
ご覧ください



これらのプロジェクトを説明する
ときは、このパワーポイントをお
使ってください。

様々な言語と通貨によるTOF
献金カレンダーです。



2022/23年度の全プロジェクト
の詳細説明です。

ウェブサイトでは、パンフレ
ット、ビデオ、献金申請ほか
様々な情報が得られます。



若いピースメーカーのプログラム ワイズメンズクラブ国際協会とインド地域のプログラム



コミュニティ内での紛争の増加は、平和を遠ざけ、開発の障害となります。コミュニティ内のストレスの増大は、開発プロセスを狂わせます。[持続可能な開発目標](#)を達成するためには、コミュニティが平和を受け入れることが不可欠です。どのようなコミュニティにおいても、平和を促進し、確立するためには、持続的な努力が必要です。この平和の種を若い心に植え、彼らが大人になるまで持ち続けることが必要です。平和の崩壊の引き金となり、反感を招くような対立を助長する問題、結束を強める価値観、憎しみを植え付けるメッセージ、平和的共存を高める類似性などを特定することが、このプロジェクトの基礎となっています。平和構築は、持続的な努力であり、開発プログラムの一部として受け入れる必要があります。紛争後の心理社会的プログラムによる平和の回復は、コミュニティリーダーが利用できる有用な手段です。宗教、カースト、肌の色などの違いに起因する紛争や憎しみが増大すると、社会の構造が損なわれ、コミュニティ内に恐怖が蔓延します。

ピースメーカー(平和構築者)は、平和の回復に大きな役割を果たします。今、若年層に対する平和構築のための継続的な教育が不可欠です。この取り組みは1回限りのものではなく、地域社会の平和を維持するために何度でも採用し、繰り返す必要があります。特に、過去に暴力や紛争の残酷さに直面したことのある脆弱なコミュニティでは、コミュニティのあらゆる言説の中に平和のメッセージがより大きなスペースを占めるようにすべきです。

YMIのTOF助成により、インドYMCAは、500人以上の若者を対象にこの1年間のプログラムを実施しました。このプログラムは、区の役員に紹介され、その後、インドYMCAの9つの地域がこのプログラムを実施し、「ヤングピースメーカーコンクラーベ」でクライマックスを迎えました。平和構築と紛争解決の概念について、各地の若者を教育することが、このプログラムの包括的なテーマでした。参考資料として、また継続的な学習のために、若いピースメーカーのためのハンドブックが作成されました。この本を様々な言語に翻訳することで、読者の理解と幅が広がることでしょう。

TOFのインパクトストーリー 韓国地域 ラオスの学校、住宅リノベーションプロジェクト



2019年初め、YMIドクターズの活動の一環として、韓国の医療スタッフの一行がラオスを訪れました。同時に、ワイズメンの別のボランティアチームも訪れていました。このグループは、一緒になって教室を修理し、貧しい地域の学校環境を改善する手助けをしました。この活動は、両グループにとって成功でした。しかし、時間的な制約もあり、多くのニーズに対応しきれませんでした。そして、自分たちが成し遂げたことに満足していないボランティアたちは、出会った人たちに、さらなる支援を約束したのです。その約束を守るために、韓国地域は、全北区の全面的な支援のもと、2度目のラオス訪問のための資金集めを始めました。

目標は、ラオス北部の寄宿学校にコンピュータ室を設置し、設備を整えることでした。このプロジェクトは、2020年に承認されたTOF助成金20,000スイスフランによってさらに資金が調達されました。これは、計画された改修を完了するために必要な建築資材や機器の購入に充てるために要請されたものです。2020年から2021年にかけて、20台のコンピュータが韓国から輸送され、設置されました。しかし、既存の教室は、想定していた80台のコンピュータを収容するには狭すぎるのが次第に明らかになってきました。新しいコンピュータラボを建設するために、さらに資金を調達することが決定され、2021年7月に覚書を文部省と締結しました。さらに特別な資金調達キャンペーンの実施により、ラボの建設資金に十分な寄付が集まりました。新しいコンピュータ棟は、2022年12月10日に完成しました。合計80台のコンピュータが設置され、そのうち20台は、既存の寄付者からのもので、60台は、新規の寄付者からのものです。アップグレードされた建物には、机と椅子が設置された2つのコンピュータ教室、IT教師専用の独立したスペース、そして、一般教室があります。完成を祝う式典には、学校関係者、生徒、村の幹部が出席しました。

TOF助成金の残り8,000スイスフランは、コンピュータサイエンスの非常勤講師の雇用やコンピュータ教室のメンテナンスなど、教育環境改善のために必要な資金として活用される予定です。私たちは、生活の改善だけでなく、私たちの運動のブランド認知度を高める、この国境を越えた優れた取り組みに対して拍手を送ります。韓国海外協力隊は、今後もラオスでの活動を継続し、2023年の奉仕のテーマを設定するために意気込んでいます。

ユースのインパクトストーリー インド地域
図書館プロジェクト
インド中央西区のユースとコメントが始めたプロジェクト



2023年1月24日、インド中央西区のワイズユースとコメントによって始められた「図書館プロジェクト」が、政府・地域漁業技術高校で実施されました。

区ユース代表のドヤル・エルドホ・ロイとムバットプzzaワイズメンズクラブのロハン・スニルから約300冊の本がナザール校長に手渡されました。

この催しには、ジョージ・M・アンバット区理事、サジュ・クリアン第2部部長、ベノイ・パウローズ書記、ヴァルサラ・ヴァルギースブリテン編集長、オマナ・トーマスブリテン副編集長、ジェイコブ・クリアン部書記およびアニ・サジュ部長夫人などの区のリーダーたちが出席しました。

「図書館プロジェクト」は、読書習慣を身につけることで、約1,000人の生徒に恩恵をもたらすでしょう。ワイズユースとコメントチームは、これまでに様々な場所に7つの図書館を設立し、約2,500冊の本を配布してきました。



翻訳: 東西日本区合同翻訳・通訳委員会 (担当: 田中博之)